

# 洋上風力発電の導入促進に向けた採算性分析のための基礎調査事業

令和6年度概算要求額 **75億円（36億円）**

資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー部  
新エネルギー課風力政策室

## 事業の内容

### 事業目的

洋上風力発電は、大量導入の可能性、コスト低減余地、経済波及効果の大きさの3つの観点から「再生可能エネルギー主力電源化の切り札」と期待されており、2050年カーボンニュートラルの実現に向けては、洋上風力発電の案件形成を促進していくことが重要である。

そこで、洋上風力発電設備の設置に関する採算を分析するために必要となる事項の基礎調査を実施し、そこで得られた調査データを発電事業計画の策定を行う事業者へ提供することを通じて、洋上風力発電の案件形成の加速化を目指す。

### 事業概要

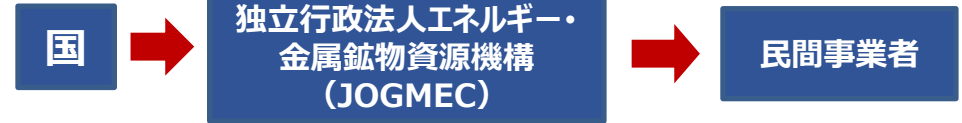
洋上風力発電事業の実施可能性が見込まれる海域を対象として、洋上風力発電事業の採算を分析するために必要な基礎調査を実施する。具体的には、洋上風力発電設備の基本設計に必要な調査データを取得するために、各種の観測機器を用いたサイト調査を実施する。

調査データは、調査対象海域で洋上風力発電事業を計画する事業者へ提供することで、事業者による発電事業計画の策定を支援する。

## 事業スキーム（対象者、対象行為、補助率等）

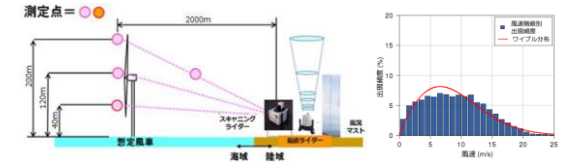
運営費交付金

委託



### <風況調査>

観測機器を用いて現地洋上の風況を観測し、風速や風向等のデータを取得



### <海底地盤調査>

海上に鋼製檣やSEP船を配置して行うボーリング調査や、計測機器を用いた物理探査により、地盤のデータを取得



## 成果目標

令和5年度からの事業であり、

- ① 調査成果を公募に参加する事業者へ提供する（令和10年度時点で延べ24者以上）。
- ② 令和12年（2030年）までに10GWの洋上風力発電の案件を形成する。
- ③ 令和22年（2040年）までに30～45GWの洋上風力発電の案件を形成する。